

ヤマビルについて

～正しく知って、上手につき合しましょう～

🦎 ヒルとは

- 体長25－35mm。
吸血すると倍以上の大きさになる。
- 晴天時には地上の落葉や土の下に潜っている。
雨降り、雨あがりのような多湿時に活発に動く。
草木の生い茂った所、日陰、ジメツとした所が好き。
- 出現が多い時期は5月～12月頃まで。
それ以外の時期でも気温15℃以上で多湿であれば出てくる。



ヤマビル成体

🦎 豆知識

- 生涯の吸血回数が多いもので8回ほど。吸血して成体にならなければ、産卵ができない。
- ちなみに、血を吸って親は一ヶ月後に産卵するが、その卵は透明でキラキラしていて神秘的に美しいとか。

🦎 予防 ～森へ出かける前に対策を！

①足元の完全ガード ～肌を出さないようにとにかく隠す！～

長ズボンを着用し、靴下の中にズボンの裾を入れます。
さらにその上に長くつをはくと完璧です。

②足元に虫よけスプレーを吹きかける ～ヒルが上ってくるのを防ぐ！～

ヒルは虫よけスプレーが苦手です。靴から靴下にかけて、スプレーしてお出かけください。

③肌をできるだけ出さない、あるいは虫よけスプレーを！

肌の露出を避けるため、長袖・長ズボンがよいです。しかし夏場など、過度の対策をして熱中症にならないようにしてください。肌を出す場合、虫よけスプレーをしていくと効果があります。

④森に出かけるときには虫よけスプレーを持参 ～噛まれたらスプレー！～

スコアオリエンテーリングなどの班活動では、班ごとにお持ちいただくことをおすすめします。

⑤ヒルをはがした後の処置 ～あまりかゆくならないために～

1. 傷口から血を押し出し、ヒルの体液（ヒルジン。血を流しやすくする）を洗い流す。
2. 水で傷口を洗い流して消毒する。
3. バンドエイドを貼って止血する（入浴後はバンドエイド等を貼りかえてください）

※人によって、血の出方や噛まれた後のかゆみは違います。虫刺され用の軟膏やかゆみ止めを使用する場合は、噛まれた方のアレルギーや薬に対する抗体等をご確認ください。

蚊に刺された場合と同じで、かゆいからとかいては、治りが遅くなり痕に残りやすくなります。

🦎 最後に

確かに見た目や動きは不気味ですが、危険な生き物ではありません。慣れば親近感すらわいてきます。彼らもまた、君亀の自然の一部です。

ヒルに怯えることなく、君亀の豊かな森で充実した活動を展開してください。